

教育ビジョン研究センターは、By EVRI, For Everyoneを合言葉に、革新的な教育デザインの提案と社会貢献を使命とした研究拠点です。本拠点は、3つのユニット、6つのクラスターで構成されます。ロゴは、6つのクラスターが相互に作用しつづつ1つの研究拠点を形づくり、広島を起点に、地域の、日本の、そして世界の教育を創造していく姿を現します。



# カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援事業に協力しました(9)



活動日時 2018年5月3日(木) - 5月6日(日)

活動従事者 草原和博, 桑山尚司, 大坂遊 (教育研究推進員), 守谷富士彦 (教育研究推進員)



広島大学インキュベーション研究拠点「教育ビジョン研究センター (EVRI)」は、ひろしま平和貢献ネットワーク協議会が受託したJICA草の根技術協力事業「カンボジアにおける持続可能な社会構築のための社会科カリキュラム・教科書開発支援」において専門家として協力しています。5月第1週には、①教科書活用の方法を実践的に学ぶ授業研究、②教科書構成の方法を理論的に学ぶセミナー開催を目的として、拠点リーダーの草原、EVRIメンバーの桑山、教育研究推進員の大坂と守谷がカンボジアへ渡航しました。

前半は、コンポンチュナン州のキリソワブン小学校で授業研究を行いました。総勢44名が参加し、午前には5年生と6年生の授業を観察しました。午後には小・中学校の教職員とカリキュラム開発局のスタッフで検討会をもちました。記録された教師と子どもの行動に基づいて教科書活用の課題と改善案をワー

クショップ形式で提案し合いました。専門家からは地図を扱った指導上の留意点を解説しました。

後半は、プノンペン市の教育省カリキュラム開発局において関係者32名を対象に教科書の作り方を協議しました。諸外国3冊の教科書を比較しつつ、構成要素の共通点と相違点を見いだすとともに、各教科書の構造をモデル化していきました。その後、現行カンボジア教科書の課題を議論し、改善策を提案しました。研修の最後には、地理・歴史・公民道徳・家庭経済の各領域別に教科書編集のアクションプランを作成しました。

6月に実施する本邦研修では、カンボジアから6名の研修員をお招きし、単元単位の教科書デザインを進めてまいります。教科書づくりの多様な方法論を共有し、社会科教科書の改善を支援していく予定です。



HIROSHIMA UNIVERSITY

教育ビジョン研究センター (EVRI)

739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1-1  
広島大学大学院教育学研究科 気付

TEL/FAX : 082-424-5265

E-mail : [evri-info@hiroshima-u.ac.jp](mailto:evri-info@hiroshima-u.ac.jp)

URL :

<http://evri.hiroshima-u.ac.jp/>

EVRI Facebook

